

広島大学短期交換留学 (HUSA) プログラム 派遣留学報告書

	記入日	平成 28 年 6 月 1 日		
所属学部・研究科	総合科学部/研究科	3 年次 (留学開始時点)		
留学先大学	ネバダ大学リノ校 IELC (国名: アメリカ)			
所属学部・学科等名	Intensive English Language Center			
在籍身分	交換留学生			
留学期間	平成 27 年 8 月 15 日 ~ 平成 28 年 5 月 23 日			
1. 渡航について				
ビザについて	ビザの種類: F-1			
	ビザ申請先: 大阪			
	取得方法, 提出書類: パスポート、派遣先からの I-20、オンライン予約証明書、預金残高証明書を持って面接を大阪で受け、後日郵送でビザが届いた。パスポートの中に印刷されるような形です。			
	手続きに要した日数: 2-3週間			
その他必要な事前手続き				
出国年月日	平成 28 年 8 月 15 日			
経路	関西空港→台北→サンフランシスコ→バスでリノへ			
現地での出迎え	<input type="checkbox"/> 有 (・大学関係者 ・その他) <input checked="" type="checkbox"/> 無			
到着後オリエンテーションの実施状況・期間・内容	授業やコースの説明、現地の過ごし方、銀行口座開設の案内、予防接種など			
帰国年月日	平成 28 年 5 月 23 日			
経路	リノからバスでサンフランシスコ→台北→関西空港			
2. 留学経費について				
所要経費	総額	180 万	円	
	内訳	渡航費	23 万	円
		保険料	13 万	円
		教科書代(学費)	8 万	円
		宿舍費	60 万	円
		食費	40 万	円
		その他 (旅行 費)	30 万	円
その他	6 万	円		
3. 授業について				
2015 年 秋 学期	8 月 20 日	~ 12 月 10 日		

2016年 春 学期	1 月 19 日 ~ 5 月 3 日
年 学期	月 日 ~ 月 日
年 学期	月 日 ~ 月 日
授業の概要について (カリキュラム, プログラム等)	Intensive English Language Center (LI, LA, HA) Functional Piano 210
単位互換希望の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 ※有の場合, 所属学部支援室へ提出の単位認定申請書類のコピーを添付すること
学術面に関する後輩へのアドバイス	条件を満たせば大学の授業を受講可能です。がんばってください。
4. 生活等について	
(1) 留学先の住居について	
住居の種類	<input type="checkbox"/> 大学の寮 <input type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> ホームステイ <input checked="" type="checkbox"/> その他 (International House)
住居の広さ	約 m ² 同居人の有無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 (14 人) <input type="checkbox"/> 無
住居に附属する設備	<input checked="" type="checkbox"/> 電気 <input type="checkbox"/> ガス <input checked="" type="checkbox"/> 水道 <input checked="" type="checkbox"/> 給湯 <input checked="" type="checkbox"/> シャワー <input type="checkbox"/> 風呂 <input checked="" type="checkbox"/> 水洗便所 <input checked="" type="checkbox"/> 暖房 <input checked="" type="checkbox"/> 冷房 <input checked="" type="checkbox"/> 台所 <input type="checkbox"/> 食堂 <input type="checkbox"/> 固定電話 <input checked="" type="checkbox"/> インターネット <input checked="" type="checkbox"/> その他 (共有の洗濯機)
住居費	1ヶ月当たり \$ 430+光熱費(現地通貨) 約 5万 円
住居を決定した方法	<input checked="" type="checkbox"/> 留学先大学の紹介 <input type="checkbox"/> 友人・知人の紹介 <input type="checkbox"/> 不動産業者 <input type="checkbox"/> その他 ()
留学先での住居全般に関するアドバイス	寮、アパート、インターナショナルハウスとそれぞれ良し悪しあるので、しっかり情報収集してから決めてください
(2) 医療について	
1日以上入院を要する病気・怪我等を	<input type="checkbox"/> した <input checked="" type="checkbox"/> しなかった
入院した場合	により 日入院
留学に当たり保険を	<input checked="" type="checkbox"/> 掛けた <input type="checkbox"/> 掛けなかった
掛けた場合	<input checked="" type="checkbox"/> 日本 <input type="checkbox"/> 留学先国 <input type="checkbox"/> その他 ()
掛け金は	年間 13万 円 補償額 死亡 円, 入院1日 円 その他 ()
留学前後での予防接種の必要の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
有の場合, その種類, 回数, 費用, 受けた医療機関名	
日常的な健康について不安が	<input type="checkbox"/> あった <input checked="" type="checkbox"/> なかった あった場合その理由:
留学先国の医療事情 (日本と比較して)	医療費は高いので一般の病院に行くことはありません。大学にヘルスセンターがあるのでそちらを利用しました。

留学先での健康管理, 衛生面について特に注意すべきこと	大学の室内外の気温差が激しいので、普段から調整できるようジャケットやパーカーなど持ち歩くとよいです。	
(3) 危険を感じた地域, 状況		
(4) その他生活等に関して参考となる事項		
5. 帰国後の進路について		
卒業予定年月	平成 29 年 3 月 (当初の卒業予定年月 平成 29 年 3 月)	
卒業が遅れる見込みの場合, その理由	<input type="checkbox"/> 4年次に留学したため <input type="checkbox"/> 単位不足のため <input type="checkbox"/> 新卒で卒業するため <input type="checkbox"/> その他 (具体的に)	
現在の状況および今後の予定・進路等	大学院に進学予定	
就職活動や留学前の単位取得, 教育実習等についての工夫	ボストン、カリフォルニアで留学生向けのキャリアフォーラムが開催されているので、そちらで就職活動が可能。早いうちに単位を取りきってれば4年で卒業可能です。	
6. 留学準備, 留学中に役立った書籍, ウェブサイト等		
書籍, サイト名	詳細 (出版社, URL 等)	コメント
7. 自由記述 (後輩へのアドバイス等)		
自分の過ごし方ひとつで、すべてが変わります。留学の目的や将来についてしっかり考えて留学するのは当然ですが、後悔のないようにしっかりと準備をしていきましょう。		

学習の概要に関するレポート

私は3年次の夏から2セメスター分、USACプログラムを利用してネバダ大学リノ校(以下UNR) IELCに留学した。留学を決めた時期が2年の夏とかなり遅かったが、どうしても英語が勉強したかったので、英語を集中して勉強できる環境で留学することを決めた。IELCではアメリカの大学に入るための準備としての英語を学ぶことができた。IELCはアメリカの大学に入学するための機関であり、プログラムを終えると、TOEFLやIELTSなどのスコアがなくても、協定を結んでいるUNRや短大であるTMCCへの推薦がもらえる。

留学がスタートするとオリエンテーションが行われ、その時にクラス分けのテストが行われた。上からHA、LA、HI、LIの4クラスがあり、どのクラスも授業はListening/Speaking、Reading/Writing、Integrated Skillsの3種類のクラスであった。Integrated SkillsはHAとLAの生徒と一緒に授業を受け、映画、食べ物、ビジネス、エンジニアなど幅広い分野から1つ選択して受講することができる。1セメスターで4回受けることができる。クラス分けで最初はListening/SpeakingはHIのクラス、Reading/WritingはLAのクラスからスタートした。1セメスター目の半分が過ぎたところで成績の状況を見て、Listening/Speakingの先生からLAのクラスに上がるように言われた。2セメスター目はHAのクラスで過ごし1つだけUNRの授業を取ることができた。無事すべてのクラスをクリアすることができた。クラスにもよるが課題が膨大で、図書館で深夜まで勉強することもしばしばあった。また1セメスター目で終えたLAと2セメスター目のHAのクラスのレベルが大きく違い、後半はより多くの時間を勉強につき込む必要があった。また、成績は普段から出席はもちろん、授業の参加度も重要である。そのため、授業中になるべく発言するよう、質問をしたり、発表を積極的に行ったりした。毎週金曜日IELC主催のイベントに参加することで世界各国から集まった生徒と仲良くなり、自分の視野が広がった。積極的に自分から人脈を広げよう、話しかけようという姿勢が重要である。その点においては、HUSAプログラムのUNRへの留学よりも友達の数が増えやすいと思う。

この留学を通して、語学力向上と、いろんな国の人と会えたことが大きかったと思う。特にこのタイミングで英語が喋れるようになったという実感があったわけではないが、英語を学習するうえで日本語をなるべく使わないことが重要であった。最初の3カ月間は現地で会った日本人とよく遊んでいたが、どうしても英語が伸びないと感じたので、できるだけ日本人以外と遊ぶようにした。それによって英語力は伸びたのではないかと思う。また、現地でできた世界各国の友達と話すことで異文化を深く理解することができたのではないかと思う。行く前に受けたIELTSのスコアが5.0、帰る前に受けたTOEFLのスコアが76だった。比較が難しいが、参考にさせていただければと思う。

生活に関するレポート

私は留学中、自炊ができるということ、ルームシェアをしなくてもいいということで、インターナショナルハウスに住んでいました。実際には一人部屋の希望を出してもルームシェアを余儀なくされるというケースもありますが、運よく一人用の部屋に住むことができたのでとてもよかったです。インターナショナルハウスは男性用、女性用、共有の三種類がありましたが、大学からすぐ近くの男性用のインターナショナルハウスに住んでいました。最大 15 人住めて、キッチンとバスルーム、洗濯機などをシェアし、ベッドはもともとあったので大きな家具や調理器具は買う必要がありませんでした。また、週末にはパーティが行われたりなどとても楽しい生活を送ることができました。インターナショナルハウスはオーナー主催のタホ湖という大きな湖への旅行、バーベキューなどのイベントも盛りだくさんなので、おすすめです。

土日や長い休日は友達と買い物や近くのレストランに行ったり、湖までピクニックに行ったり、LA やサンフランシスコ、サクラメントに旅行に行ったり、リノの街を歩いたりしていました。自分はサッカーが好きなのですが、インターナショナル生でサッカーを毎週やっていました。その中の何人かでインドアサッカーやフットサルや大会に出ることもありました。

現地の人たちは普段雨が降ることが少ないため、傘を持っていない人が少なくありませんでした。しかし雨が降ることはあるので、折り畳み傘を持っていくといいと思います。乾燥した気候の中では肌がとても乾燥するので、今まで使ったことがなかったのですが、ボディクリームやリップクリームは必須でした。

自炊をするために、大きなスーパーマーケットまでインターナショナルハウスのマネージャーやハウスメイトの友達に車で連れていってもらっていました。アジアンマーケットもあったので、少し高かったのですが、日本食に困ることはありませんでした。またリノは寿司のレストランがとても人気で、食べ放題(all you can eat)の寿司に何度も行きました。

服は夏物と冬用のコートだけを持っていき、冬服は現地のアウトレットで購入しました。スノーボードも何度かやったのですが、全てのものをレンタルするわけにもいかなかったのが、その準備をしていけばよかったと今では思います。

とにかく、行く前にはいい準備が必要です。その準備には情報が必要なので、実際に現地に留学に行った先輩を知ることがとても重要になると思います。また目標も明確にしていく必要があると思います。頑張ってください。



UNR の JSAN という日本の文化を学ぶクラブでの Japanese festival